第1・2学年（複式学級）学級活動指導案

平成27年7月3日（金）5校時

授業者　教諭　前泊睦美

1学年（男子1名女子2名計3名）

2学年（男子1名女子1名計2名）

**１　題材**「ふわふわことば　ちくちくことば」

学級活動（２）　ウ　望ましい人間関係の形成

**２　題材について**

（１）児童の実態

　本学級は、児童数5名のうち新入生3名、転入生1名と4名がこれまでと違った新しい生活を送っている。児童は、友だちや学校生活の変化に慣れない事も多いが、明るく活発に休み時間や放課後も学級の仲間と遊ぶ姿が見られる。また、小規模校であるため、学校行事や昼休みは上級生と活動する機会も多い。6月に行われた運動会では、紅白応援や団競の練習を上級生と協力し成功させることができた。

一方、自分の気にそまない時は、友だちや上級生に対して心にもない言葉を発してしまい、相手を傷つける場面がみられる。また、自分の発した言葉により、相手が傷ついていることに気づいていないようである。

　これまでの授業でも、バッドモデルを行った際に、学級の仲間が「その行動モデルは良くない」と素直に答える中で、「バッドモデルと思わない」という強がりを通す態度が見られた。しかし、児童の学習の振り返りには、毎回きちんとしたまとめがされていることから、悪気なく相手を傷つける言葉を発していることが考えられる。

事前に行ったＱ－Ｕの楽しい学校生活を送るためのアンケートからも、「クラスの人に嫌なことを言われる事がある」と答える児童がいるのに対し、「ない」と答える児童がいる。また、児童は明るく楽しいクラスと感じているが、とても思うに属していない要因に、仲間による傷つく言葉が考えられる。　　　**表　Ｑ－Ｕアンケート結果**

これより、低学年児童にとって、どの

ような言葉が相手を傷つけてしまうのか、

どのような言葉を活用したら良いのか理

解していないことが考えられる。さらに、

この行動は、学校生活における児童のよ

りよい人間関係に影響を与えてしまうこ

とから、自己の行動に気づかせ、問題を

解消できるよう指導していく必要がある。

　そこで、5月から行っている社会性の

基礎を育むためのスキルを取り入れ、言

葉の持つ大切さを理解させたい。そして

温かい言葉かけを学校生活で使おうとす

る態度を身につけさせ、よりよい人間関係づくりにつながることを期待している。

（２）題材設定の理由

　学校生活にも慣れ、友だちとの関わりも多くなってきている児童の間でみられるトラブルが、相手を傷つける言葉である。この題材は、学級の社会性の基礎を身につける活動として、1学期の指導計画に位置付けている。

言葉には、「ふわふわことば」という温かい言葉と「ちくちくことば」という相手を傷つける言葉があることを低学年児童に分かりやすく、具体物を活用して理解させていく。そして、実際にそれらの言葉を使った役割演技を通してこれまでの自分の生活を振り返り、実践化していくことができる題材である。また、授業の終末に「ふわふわことば」の力で元気になった児童の実話を見せることで、さらに児童は実践しようとする態度が身につくであろうと考える。

**３　第1学年及び2学年の評価規準**学級活動（２）ウ望ましい人間関係の形成

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 集団活動や生活への関心・意欲・態度 | 集団の一員としての思考・判断・実践 | 集団活動や生活への知識・理解 |
| 評価規準 | ○学校・学級集団の中で、様々な人と仲よくできる人間関係を築こうとしている。 | ○友だちの良さを認め、よりよい人間関係を築くためにはどうしたらよいのかを考え、行動している。 | ○仲良く温かい学級集団にするための方法を理解している。 |

**４　本時で目指す児童の姿と評価規準**

|  |  |
| --- | --- |
| 目指す児童の姿 | 事後指導で目指す評価 |
| 　言葉によって気持ちが変わることを知り、相手を傷つけない言葉をたくさん使おうとしている。【思考・判断・実践】 | 　言葉によって気持ちが変わることを知り、相手を傷つけない言葉をたくさん使っている。【思考・判断・実践】 |

**５　本時の展開**

1. 本時のねらい

　　○言葉によって気持ちが変わることを知り、これからの学校生活で相手を傷つけない言葉を使うことができる。

（２）本時の展開　　　　スキルの領域【配慮】スキルの種類【対人関係のﾏﾅｰ】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 過程 | 児童の活動 | 指導上の留意点 | 資料 | 目指す児童像 |
|  つかむ | 導入10分 | 【きづく】1. 絵本の読み聞かせを聴き言葉により相手を傷つけることを知る。

2.今日の学習について知る。 | ・児童が興味を高めやすいよう電子黒板で提示する。 | ﾃﾞｼﾞﾀﾙ教材　絵本 | 言葉によって気持ちが変わることを知り、相手を傷つけない言葉をたくさん使おうとしている。【思考・判断・実践】 |
| さぐる・見付ける | 展開25分 | 【つかむ】3．言葉には「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」があることを知り、人が傷ついたり、うれしくなったりする事を理解する。 【やってみる】4.役割演技をし、言葉の違いで気持ちの受け止め方が違うことを感じる。【つかむ】5. ふわふわ言葉が気持ちを温かくすることを確認し、　言葉により元気になった実話を聴く。 | ･これまでの経験を振り返らせ、言葉を出し合い、分けていく。・ちくちく言葉が傷つくことを心の風船で捉えさせる。・児童の経験しやすい事例をカードにし、役割演技をさせる。・発表が苦手な児童は指導者と行う。・ＤＶＤで実話の映像を見せながら、児童の心に強く伝える。 | 風船行動ｶｰﾄﾞ行動ｶｰﾄﾞ |
| まとめる | 終末10分 | 6．振り返りカードで学習の　 まとめをする。7.頑張った児童の態度を知らせ、今後の改善していく生活について話を聴く | ・自己評価で学習のまとめ　をさせる。・学級掲示カードで意欲を 高めさせる。 | ﾜｰｸｼｰﾄ |

**６　事後指導**

1. 朝の会や帰りの会で実践している児童、しようとしている児童の頑張り　　　　　　を全員で認める。

**７　資料**

○楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動小学校編　国立政策研究所

○評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校特別活動】

平成23年11月　国立政策研究所

○小1プロブレム・予防＆改善プログラム　橋本創一（2011）

○ソーシャルスキル教育で子どもが変わる　國分康孝（1999）

○社会性を育てるスキル教育小学1年生　國分康孝（2007）

○クラスが変わる！子どものソーシャルスキル指導法　岩澤一美（2014）

○あんなになかよしだったのに・・・　作・絵かさいまり（2009）ひさかたﾁｬｲﾙﾄﾞ

○ﾌｼﾞＴＶ2008年1月10日放送　奇跡体験ｱﾝﾋﾞﾘﾊﾞﾎﾞｰより「たかし君命のﾒｯｾｰｼﾞ